

## 新型コロナウイルス感染症に関連する 本学の対応

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、本学では学生や関係者の安全を考慮し、感染予防のための各種措置を講じた。

本学の主な対応は以下のとおり(2020年3月25日現在)

- ・2020年度入学式、第53回卒業式・第42回大学院学位記授与式の開催中止
- ・新入生対象「プレシメント・テスト(TOEIC®IP)」中止、自宅で受験可能なオンライン・テストに変更
- ・図書館 高校生・予備校生への図書館開放中止、草加市中央図書館紹介状利用の停止、施設一部利用停止
- ・キャリアセンター 就職情報会社が開催する合同企業説明会の多くが中止や延期となったことを受け、就職活動中の学生のために万全の体制で窓口相談に対応
- ・ICZ(International Communication Zone)、自律学習支援スペースCLEAS 換気のため入口扉開放
- ・オープンカレッジ特別講座「世界を驚かせた北斎と「北斎漫画」」の開催延期
- ・クラブ・サークル 合宿、行事、試合原則禁止  
密閉された空間での活動や、多人数での活動禁止
- ・教職員の渡航制限
- ・職員の臨時時差勤務の導入 など

新型コロナウイルス感染症の状況によって、変更等が生じる場合があります。最新情報は大学ホームページ「緊急のお知らせ」を確認してください。

## 安間一雄言語文化学科教授が 学術研究顕彰を受賞

3月11日、2019年獨協大学学術研究顕彰表彰式が行われ、安間一雄言語文化学科教授が表彰された。

選考委員会は、安間教授が2019年3月14日から17日にハワイ大学マウイ校で行われた「IEEE 2nd International Conference on Information and Computer Technologies」で「Partial Scoring of Reordering Tasks: Maximal Relative Sequence by Excel(並べ替え問題の部分採点:エクセルによる最大相対連鎖法)」と題した研究発表を行い、Best Presentationを受賞したことを評価。安間教授には犬井正学長(当時)より、表彰状と祝金3万円が贈呈された。

獨協大学学術研究顕彰は、優れた学術研究成果を挙げ、学会等から賞を受けた本学専任教職員に対し、その功績を顕彰している。1999年から始まり、これまでに延べ14名が受賞している。



## 卒業式・大学院学位記授与式を中止

新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、本学は第53回卒業式・第42回大学院学位記授与式の中止を決定した。卒業式および大学院学位記授与式の中止は異例のことで、東日本大震災の影響を受けた2011年以來となった。学内での学位記授与や祝賀会も、中止となった。こうした中、犬井正学長(当時)は、大学ホームページ上にメッセージを掲載。「常に世界の動きとともに、足もともにも目を向け、人生を先手、先手で積極的に設計し、逞しく生き抜いてほしい。それぞれの夢や希望をしっかりと持ち続け、自らを磨き上げて、やがて訪れるチャンスを確実に掴み取ってください」とエールを送った。

学位記取得者数および総代、副総代は次のとおり。

### ■学 士

学科	学位記取得者数	総代	副総代
ドイツ語学科	140名	木下 大斗	木村沙也加
英語学科	251名	田中 涼	多養 千鶴
フランス語学科	95名	猪瀬 美佳	武藤 彩華
交流文化学科	79名	大沼 歩実	酒井 直輝
言語文化学科	155名	田中 啓行	山崎 杏奈
経済学科	328名	金谷 美沙	清水 悠理
経営学科	335名	江本 愛華	鄭 睿敏
国際環境経済学科	135名	石井幸太郎	渡邊茉莉花
法律学科	259名	中嶋 悠人	浜名 梨緒
国際関係法学科	81名	大石 翔	寺山 由望
総合政策学科	82名	高倉万由子	金山 直樹
合計	1,940名		

### ■修 士

研究科	学位記取得者数	総代	副総代
外国語学研究科	6名	ハーウッド 美樹	清沢 菜穂

## 2020年度入試状況総括

2020年度の獨協大学入学志願者数が確定した。一般入試(センター利用入試を含む)の志願者総数は20,050人(前年度比80.3%)、前年度24,964人から4,914人減少した。昨年11月から12月にかけて実施した推薦、卒業生子女・弟妹、特別、社会人入試の志願者数は1,223人(前年度1,093人)で、一般入試と合計した志願者総数は21,273人(前年度26,057人)となった。志願者減の主な要因は、センター利用入試における大幅減によるものである。また、来年度から大学入試センター試験に代わり「大学入学共通テスト」が始まるため、今年中に入学したいという受験生の安全志向による出願で、前年度志願者が増えた本学への出願が回避されたものと考えられる。

原成吉入試部長は、「18歳人口の減少と私立大学の入学定員厳格化を背景として、受験生の大学選びはより一層慎重になりつつある。2021年度入試では受験生の視点に立った入試制度改革などを推進するとともに、改めて獨協大学の魅力を感じてもらえるようオープンキャンパスなどを通じて積極的にPRしていきたい」と語った。



2019年に行われたオープンキャンパスの様子